

## 【別紙様式1】の記入要領

- (1) 「申請者名」欄には、会社名又は個人名を記載するものとし、個人の場合は本人、法人の場合は代表権者(代表権を委任されたものを含む。)に限ることとする。
- (2) 「種類」の欄には、魚種及び形態を「ベにぎけ、ラウンド、冷凍」等、具体的に記載すること。
- (3) 「輸入数量(総量)」欄には、重量で表示を行うこと。
- (4) 「種類別輸入数量」欄には、魚種別に重量で表示を行うこと。
- (5) 「輸入金額」欄には、円及び米ドルで表示を行う。決済通貨が米ドル以外の通貨建ての場合には、括弧書で併記すること。また、金額に端数が生じた場合は、切り上げて記載すること。
- (6) 「輸入契約の相手国」及び「輸入契約の相手方」欄は各々の地域の表示方法によること。
- (7) 「輸入契約条件」欄には、当該契約の該当する建値に○印を付すこと。「その他」の契約条件を詳細に記載すること。
- (8) 「船積予定」及び「入着予定」欄には、それぞれの予定年月日を記載すること。なお、予定年月日について幅がある場合は、それぞれ期間を記載すること。
- (9) 「船積港」欄には、船積港名を記載すること。  
なお、船積港が複数の場合には、船積港別に確認書を提出すること。
- (10) 「入着港」欄には、予定の最終陸揚港を記載すること。
- (11) 「確認番号(申請回数)」欄には、当該申請貨物に係るすべての原料の使用原料確認票(別紙様式2)の確認番号及び当該使用原料に係る申請回数を記載すること。なお、別紙様式2による確認を新規に申請する場合には、「新規」と記載する。
- (12) 「魚種名」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の種名を「ベニザケ、シロザケ、カラフトマス」等、標準和名又は一般的名称にて記載すること。
- (13) 「漁獲時期」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の魚種別、形態別に漁獲が行われた時期を記載すること。
- (14) 「漁獲水域」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の魚種別、形態別に漁獲の行われた水域を記載すること。
- (15) 「漁獲方法」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の魚種別、形態別に漁法(例えば、定置網、はえなわ等)を記載すること。
- (16) 「漁獲時の原産地」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の原産地を国・地域名(領有地等の領有地名等)により記載すること。
- (17) 「(有償・無償の別)」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)を輸出した際の有償又は無償の別を記載すること。

(注) 1 用紙の大きさはA列4番とすること。

2 欄に記載しきれないときは、別紙として添付すること。